

令和5年度

奥秩父特別保護地区生息状況調査業務

報告書

令和5年11月



---

## 5. 調査結果とりまとめ及び考察

---

本業務で実施した文献調査、聞き取り調査及び現地調査の結果についてとりまとめるとともに、奥秩父特別保護地区及びその周辺における鳥獣の生息環境・生息状況について考察を行い、当該地域を特別保護地区に指定する意義を明らかにした。

### 5.1 令和5年度調査による生息種リスト

---

本業務で実施した文献調査及び聞き取り調査並びに現地調査の結果についてとりまとめ、表 5-1 表 5-2(1)～(2)に示すとおり令和5年度版の生息種リストを作成した。令和5年度版の生息種リストとして、哺乳類は7目16科33種、鳥類は12目33科86種が確認された。

令和5年度版生息種リストは、哺乳類、鳥類ともに、主に文献調査で得られた生息種の情報であった。哺乳類については、聞き取り調査によって文献調査で得られなかったモグラ類やネズミ類の情報を補完することができた。現地調査で確認した種は、いずれも文献調査あるいは聞き取り調査において把握されていた種とおおむね重複していた。

表 5-1 令和 5 年度版 生息種リスト（哺乳類）

No.	目名	科名	種名	文献調査	聞き取り調査	現地調査	重要種選定基準				
							① 文化財 保護法・ 条例	② 種の 保存法	③ 環境省 レッドリスト	④ 埼玉県 レッドリスト (全県)	
1	モグラ (食虫)	トガリネズミ	トガリネズミ		○						
2		モグラ	ヒメヒミズ		○						
3			ヒミズ		○						
4			ミズラモグラ		○				NT	NT1	
5	コウモリ (翼手)	キクガシラコ ウモリ	コキクガシラコウモリ		○	○				NT1	
6			キクガシラコウモリ		○					NT1	
7		ヒナコウモリ	シナノホオヒゲコウモリ	○	○					NT1	
8			モモジロコウモリ	○							
9			モリアブラコウモリ	○	○					VU	EN
10			クビワコウモリ	○	○					VU	EN
11			ヒナコウモリ	○	○						
12			ニホンウサギコウモリ	○	○						NT1
13			コテングコウモリ	○	○	○					NT1
14			テングコウモリ	○	○						NT1
15	サル(霊長)	オナガザル	ニホンザル	○	○						
16	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	○	○						
17	ネズミ (齧歯)	リス	ニホンリス	○	○						
18			ニホンモモンガ		○	○					NT1
19			ムササビ		○						NT1
20		ヤマネ	ヤマネ		○	○	国天				NT1
21		ネズミ	ヤチネズミ		○						
22			アカネズミ		○						
23			ヒメネズミ		○						
24	ネコ(食肉)	クマ	ツキノワグマ	○	○	○				NT2	
25		イヌ	タヌキ	○							
26			キツネ	○	○						
27		イタチ	ホンドテン	○	○						
28			オゴジョ		○					NT	NT1
29			アナグマ	○							
30		ジャコウネコ	ハクビシン	○	○						
31	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	○							
32		シカ	ニホンジカ	○	○	○					
33		ウシ	カモシカ	○	○		特天				
計	7 目	16 科	33 種	20 種	29 種	6 種※	2 種	0 種	4 種	14 種	

注) 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査 令和 4 年度生物リスト」(河川環境データベース、令和 4 年)に準拠した。  
重要種の選定基準は表 4-6 に示すとおり。  
※: 本業務の現地調査で確認されたヒナコウモリ科 (20kHz) 及びヒナコウモリ科 (40kHz) 並びにイタチ科は、種の同定まで至らなかったため、除いて記載した。

表 5-2(1) 令和5年度版 生息種リスト（鳥類）(1/2)

No.	目名	科名	種名	文献調査	聞き取り調査	現地調査	重要種選定基準							
							① 文化財 保護法・ 条例	② 種の 保存法	③ 環境省 レッド リスト	④埼玉県レッドリスト				
										全県	亜高 山帯	山地帯		
1	キジ	キジ	コジュケイ	○										
2			ヤマドリ	○					繁VU・越VU		繁VU・越VU			
3	ハト	ハト	キジハト	○		○								
4			アオバト	○					繁RT		繁LP			
5	ペリカン	サギ	アオサギ	○										
6	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	○						繁LP		繁LP		
7			ホトギス	○						繁RT		繁LP		
8			ツツドリ	○						繁LP		繁LP		
9			カッコウ	○						繁NT2		繁NT2		
10	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	○	○				NT	繁VU				
11	アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ	○						繁DD	繁DD	繁DD		
12			アマツバメ	○			○							
13	タカ	タカ	トビ	○							繁DD			
14			ツミ	○								繁NT2		
15			ハイタカ	○						NT	繁DD・越NT2		繁DD・越DD	
16			オオタカ	○						NT	繁VU・越VU		繁VU	
17			ノスリ	○							繁NT2・越NT2			
18			クマタカ	○					国内	EN	繁EN・越EN	繁VU・越VU	繁VU・越VU	
19	フクロウ	フクロウ	コノハズク	○							繁VU	繁VU	繁VU	
20			フクロウ	○			○				繁RT・越NT2			
21			アオバズク	○							繁NT2		繁DD	
22	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	○						繁RT				
23	キツツキ	キツツキ	コゲラ	○	○	○								
24			オオアカゲラ	○							繁NT1	繁NT1	繁NT1	
25			アカゲラ	○	○	○								
26			アオゲラ	○		○					繁RT			
27	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	○				国内	VU	越VU				
28	スズメ	モズ	モズ	○		○								
29		カラス	カケス	○		○								
30			オナガ	○										
31			ホシガラス	○	○	○						繁NT2	繁NT2	繁NT2
32			ハシボソガラス	○										
33			ハシブトガラス	○	○	○								
34			キクイタダキ	キクイタダキ	○	○	○							
35		シジュウカラ	コガラ	○		○					繁NT2		繁NT2	
36			ヤマガラ	○		○					繁RT			
37			ヒガラ	○		○					繁RT			
38			シジュウカラ	○		○								
39		ツバメ	ツバメ	○										
40		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○		○								
41	ウグイス	ウグイス	○		○					繁RT	繁NT2	繁NT2		
42		ヤブサメ	○							繁NT2		繁NT2		
43	エナガ	エナガ	○		○									
44	ムシクイ	オオムシクイ	○						DD					
45		メボソムシクイ	○		○					繁NT2		繁NT2		
46		エゾムシクイ	○							繁NT2		繁NT2		
47		センダイムシクイ	○							繁NT2		繁NT2		

注) 種名及び配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会、平成24年)に準拠した。  
重要種の選定基準は表 4-6 に示すとおり。埼玉県レッドリストの鳥類の評価は、全県・山地帯・亜高山帯で評価した。

表 5-2(2) 令和5年度版 生息種リスト（鳥類）(2/2)

No.	目名	科名	種名	文献調査	聞き取り調査	現地調査	重要種選定基準						
							①文化財保護法・条例	②種の保存法	③環境省レッドリスト	④埼玉県レッドリスト			
										全県	亜高山帯	山地帯	
48	スズメ	メジロ	メジロ	○		○							
49		チメドリ	ガビチョウ			○							
50			ソウシチョウ	○									
51		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	○		○				繁 NT2	繁 NT2	繁 NT2	
52		キバシリ	キバシリ	○						繁 RT		繁 NT1	
53		ミソサザイ	ミソサザイ	○		○							
54		ムクドリ	ムクドリ	○									
55		カワガラス	カワガラス	○		○							
56		ヒタキ	マミジロ	○									
57			トラツグミ	○		○				繁 NT2		繁 NT2	
58			クロツグミ	○						繁 NT2		繁 NT2	
59			マミチャジナイ	○									
60			シロハラ	○									
61			アカハラ	○							繁 NT2		繁 NT2
62			ツグミ	○									
63			コマドリ	○							繁 NT1		繁 NT1
64			コルリ	○							繁 NT1		繁 NT1
65			ルリビタキ	○	○	○					越 RT		
66			ジョウビタキ	○									
67			ノビタキ	○									
68			コサメビタキ	○							繁 EN		繁 NT2
69			キビタキ	○							繁 RT		
70		オオルリ	○							繁 RT			
71		イワヒバリ	イワヒバリ	○						繁 NT1	繁 NT1		
72			カヤクグリ	○		○							
73		スズメ	スズメ	○									
74		セキレイ	キセキレイ	○		○							
75			ハクセキレイ	○									
76			ビンズイ	○									
77		アトリ	アトリ	○									
78			カワラヒワ	○									
79			マヒワ	○									
80			ウソ	○	○	○							
81			アカウソ	○									
82			シメ	○									
83			イカル	○									
84	ホオジロ	ホオジロ	○		○				繁 RT				
85		カシラダカ	○										
86		クロジ	○						越 RT				
計	12 目	33 科	86 種	85 種	8 種	30 種	0 種	2 種	6 種	44 種	8 種	28 種	

注) 種名及び配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会、平成24年)に準拠した。  
重要種の選定基準は表 4-6 に示すとおり。埼玉県レッドリストの鳥類の評価は、全県・山地帯・亜高山帯で評価した。

5.2 過年度調査との比較

表 5-3 及び表 5-4(1)～(2)に示すとおり、令和 5 年度調査で把握した生息種と、過年度調査で把握した生息種を比較した。

令和 5 年度版の生息種リストは、収集した文献や聞き取りによって、過年度に整理された種をおおむね網羅する結果となっており、大きな生息種の変化はみとめられていない。また、聞き取りや新たな調査報告によって、過年度には把握されていなかったネズミ類やタカ類等の生息情報が追加された。

表 5-3 過年度調査との比較（哺乳類）

No.	目名	科名	種名	R5 確認種			(参考)				重要種選定基準					
				文献	聞き取り	現地	H16 指定時の確認種	H26 再指定時の確認種			① 文化財保護法・条例	② 種の保存法	③ 環境省レッドリスト	④ 埼玉県レッドリスト(全県)		
								文献	聞き取り	現地						
1	モグラ	トガリネズミ	トガリネズミ		○		●	●								
2	(食虫)	モグラ	ヒメヒミズ		○		●	●								
3			ヒミズ		○		●	●								
4			ミズラモグラ		○		●						NT	NT1		
5	コウモリ	キクガシラコ	コキクガシラコウモリ		○	○	●		○		●			NT1		
6	(翼手)	ウモリ	キクガシラコウモリ		○		●	●			●			NT1		
7		ヒナコウモリ	シナホオヒゲコウモリ	○	○		●	●	○		●			NT1		
8			カグヤコウモリ						○		●			EN		
9			モモジロコウモリ	○			●									
10			モリアブラコウモリ	○	○		●						VU	EN		
11			クビワコウモリ	○	○		●	●			●		VU	EN		
12			ヒナコウモリ	○	○		●	●								
13			チチブコウモリ						○		●		LP	EN		
14			ニホンウサギコウモリ	○	○		●	●	○		●			NT1		
15			コテングコウモリ	○	○	○	●		○		●			NT1		
16			テングコウモリ	○	○		●	●	○		●			NT1		
17	サル(霊長)	オナガザル	ニホンザル	○	○		●	●	○		●					
18	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	○	○		●	●	○		●					
19	ネズミ	リス	ニホンリス	○	○		●	●	○		●					
20	(齧歯)		ニホンモモンガ		○	○	●	●						NT1		
21			ムササビ		○		●	●	○		●			NT1		
22		ヤマネ	ヤマネ		○	○	●	●			●	国天		NT1		
23		ネズミ	ヤチネズミ		○		●									
24			アカネズミ		○		●									
25			ヒメネズミ		○		●									
26	ネコ(食肉)	クマ	ツキノワグマ	○	○	○	●	●	○	○	○	●		NT2		
27		イヌ	タヌキ	○			●	●	○			●				
28			キツネ	○	○		●	●	○		○	●				
29		イタチ	テン	○	○		●	●	○		○	●				
30			ニホンイタチ					●	○			●				
31			オコジョ		○		●	●					NT	NT1		
32			アナグマ	○			●	●								
33		ジャコウネコ	ハクビシン	○	○		●	●	○			●				
34	ウシ	イノシシ	イノシシ	○			●	●	○			●				
35	(偶蹄)	シカ	ニホンジカ	○	○	○	●	●	○	○	○	●				
36		ウシ	カモシカ	○	○		●	●	○			●	特天			
計	7 目	16 科	36 種	20 種	29 種	6 種*	33 種	26 種	21 種	2 種	4 種	22 種	2 種	0 種	5 種	16 種

注) 種名及び配列は「河川水辺の国勢調査 令和 4 年度生物リスト」(河川環境データベース、令和 4 年)に準拠した。

重要種の選定基準は表 4-6 に示すとおり。

H26 再指定時の確認種は、「奥秩父特別保護地区生息状況確認業務調査報告書」((株)野生動物保護管理事務所、平成 26 年 7 月)の掲載種を転記した。また、H16 指定時の確認種は、確認種に関する指定当時の資料がなかったため、H26 報告書で示されていた種を転記した。

※: 本業務の現地調査で確認されたヒナコウモリ科 (20kHz) 及びヒナコウモリ科 (40kHz) 並びにイタチ科は、種の同定まで至らなかったため、除いて記載した。

R5 調査で確認された種

表 5-4(1) 前回調査結果との比較（鳥類）(1/2)

No.	目名	科名	種名	R5 確認種			(参考)				重要種選定基準						
				文献	聞き取り	現地	H16 指定時の確認種	H26 再指定時の確認種			① 文化財保護法・条例	② 種の保存法	③ 環境省レッドリスト	④ 埼玉県レッドリスト			
								文献	聞き取り	現地				全県	亜高山帯	山地帯	
1	キジ	キジ	コジュケイ	○			●		○		●						
2			ヤマドリ	○			●	●	○		○	●				●	●
3	カモ	カモ	オシドリ					●						DD		●	●
4	ハト	ハト	キジバト	○		○	●		○			●					
5			アオバト	○			●	●	○			●					●
6	ペリカン	サギ	アオサギ	○			●										●
7	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	○			●	●	○		○	●					●
8			ホトギス	○			●	●	○		○	●					●
9			ツツドリ	○			●	●	○		○	●					●
10			カッコウ	○			●										●
11	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	○	○		●	●	○			●		NT			●
12	アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ	○			●	●									●
13			アマツバメ	○		○	●										●
14	タカ	タカ	トビ	○			●		○			●					●
15			ツミ	○			●										●
16			ハイタカ	○			●							NT			●
17			オオタカ	○			●							NT			●
18			ノスリ	○			●										●
19			イヌワシ					●					国天	国内	EN	●	●
20			クマタカ	○			●	●	○			●		国内	EN	●	●
21	フクロウ	フクロウ	コノハズク	○			●	●	○			●					●
22			フクロウ	○		○	●										●
23			アオバズク	○			●										●
24	プツボウソウ	カワセミ	アカショウビン						○			●					●
25			カワセミ	○			●										●
26			ヤマセミ					●									●
27	キツツキ	キツツキ	コゲラ	○	○	○	●		○		○	●					●
28			オオアカゲラ	○			●		○			●					●
29			アカゲラ	○	○	○	●	●	○		○	●					●
30			アオゲラ	○		○	●	●	○			●					●
31	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	○			●						国内	VU			●
32	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ					●						VU			●
33		モズ	モズ	○		○	●										●
34		カラス	カケス	○		○	●	●	○		○	●					●
35			オナガ	○			●		○			●					●
36			ホシガラス	○	○	○	●	●			○	●					●
37			ハシボソガラス	○			●		○			●					●
38			ハシブトガラス	○	○	○	●		○			●					●
39		キクイタダキ	キクイタダキ	○	○	○	●	●	○		○	●					●
40		シジュウカラ	コガラ	○		○	●	●	○		○	●					●
41			ヤマガラ	○		○	●	●	○		○	●					●
42			ヒガラ	○		○	●	●	○		○	●					●
43			シジュウカラ	○		○	●	●	○		○	●					●
44		ツバメ	ツバメ	○			●		○			●					●
45			イワツバメ					●									●
46		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○		○	●		○			●					●
47		ウグイス	ウグイス	○		○	●	●	○		○	●					●
48			ヤブサメ	○			●	●	○			●					●
49		エナガ	エナガ	○		○	●	●	○		○	●					●

注) 種名及び種記号は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会、平成24年)に準拠した。R5 調査で確認された種  
 重要種の選定基準は表 4-6 に示すとおり。埼玉県レッドリストの鳥類の評価は、全県・山地帯・亜高山帯で評価した。  
 H26 再指定時の確認種は、「奥秩父特別保護地区生息状況確認業務調査報告書」(株)野生動物保護管理事務所、平成26年7月)の掲載種

を転記した。また、H16 指定時の確認種は、確認種に関する指定当時の資料がなかったため、H26 報告書で示されていた種を転記した。

表 5-4(2) 前回調査結果との比較 (鳥類) (2/2)

No.	目名	科名	種名	R5 確認種			(参考)						重要種選定基準						
				文献	聞き取り	現地	H16 指定時の確認種			H26 再指定時の確認種			① 文化財保護法・条例	② 種の保存法	③ 環境省レッドリスト	④ 埼玉県レッドリスト			
							文献	聞き取り	現地	文献	聞き取り	現地				全県	亜高山帯	山地帯	
50	スズメ	ムシクイ	オオムシクイ	○			●									DD			
51			メボソムシクイ	○		○	●	●	○		○	●					繁 NT2		繁 NT2
52			エゾムシクイ	○			●	●	○		○	●					繁 NT2		繁 NT2
53			センダイムシクイ	○			●	●	○			●					繁 NT2		繁 NT2
54		メジロ	メジロ	○		○	●			○	○	●							
55		チメドリ	ガビチョウ			○	●			○		●							
56			ソウシチョウ	○			●			○		●							
57		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	○		○	●	●	○			●					繁 NT2	繁 NT2	繁 NT2
58		キバシリ	キバシリ	○			●	●	○			●					繁 RT		繁 NT1
59		ミンサザイ	ミンサザイ	○		○	●	●	○		○	●							
60		ムクドリ	ムクドリ	○			●			○		●							
61		カワガラス	カワガラス	○		○	●	●	○		○	●							
62		ヒタキ	マミジロ	○			●	●	○			●							
63			トラツグミ	○		○	●	●	○		○	●					繁 NT2		繁 NT2
64			クロツグミ	○			●	●	○			●					繁 NT2		繁 NT2
65			マミチャジナイ	○			●												
66			シロハラ	○			●												
67			アカハラ	○			●			○	○	●					繁 NT2		繁 NT2
68			ツグミ	○			●			○		●							
69			コマドリ	○			●	●	○		○	●					繁 NT1		繁 NT1
70			コルリ	○			●	●	○			●					繁 NT1		繁 NT1
71			ルリビタキ	○	○	○	●	●	○		○	●					越 RT		
72			ジョウビタキ	○			●	●	○			●							
73			ノビタキ	○			●												
74			コサメビタキ	○			●	●									繁 EN		繁 NT2
75			キビタキ	○			●	●	○		○	●					繁 RT		
76			オオルリ	○			●	●	○		○	●					繁 RT		
77		イワヒバリ	イワヒバリ	○			●	●									繁 NT1	繁 NT1	
78			カヤクグリ	○		○	●	●	○			●							
79	スズメ	スズメ	スズメ	○			●			○		●							
80	セキレイ	セキレイ	キセキレイ	○		○	●	●	○		○	●							
81			ハクセキレイ	○			●			○		●							
82			セグロセキレイ					●				●							
83			ビンズイ	○			●	●	○			●							
84			タヒバリ							○		●							
85		アトリ	アトリ	○			●	●	○			●							
86			カワラヒワ	○			●	●	○			●							
87			マヒワ	○			●			○		●							
88			ウソ	○	○	○	●	●	○		○	●							
89			アカウソ	○			●												
90			シメ	○			●												
91			イカル	○			●	●	○			●							
92		ホオジロ	ホオジロ	○		○	●	●	○			●					繁 RT		
93			カシラダカ	○			●	●	○			●							
94			アオジ					●		○		●					繁 DD	繁 DD	
95			クロジ	○			●			○		●					越 RT		
計	13 目	35 科	95 種	85 種	8 種	30 種	86 種	55 種	68 種	0 種	29 種	69 種	1 種	3 種	9 種	50 種	10 種	33 種	

注) 種名及び配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会、平成24年)に準拠した。  
 重要種の選定基準は表 4-6 に示すとおり。埼玉県レッドリストの鳥類の評価は、全県・山地帯・亜高山帯で評価した。  
 H26 再指定時の確認種は、「奥秩父特別保護地区生息状況確認業務調査報告書」(株)野生動物保護管理事務所、平成26年7月)の掲載種を転記した。また、H16 指定時の確認種は、確認種に関する指定当時の資料がなかったため、H26 報告書で示されていた種を転記した。

R5 調査で確認された種

## 5.3 考察

### 5.3.1 奥秩父特別保護地区及びその周辺における鳥獣の生息状況・生息環境

奥秩父特別保護地区は、コメツガ、シラビソ等の針葉樹からなる亜高山帯の樹林環境を主体とし、地区の周辺はイヌブナ、ブナ等の落葉広葉樹からなる山地帯の樹林環境となっている。今回の調査では、哺乳類ではモリアブラコウモリ、クビワコウモリ、ヤマネ、ニホンモモンガ、オコジョ、ツキノワグマ、カモシカ等、鳥類ではホシガラスやキクイタダキ、コガラ、ヒガラ、メボソムシクイ、ルリビタキ、カヤクグリ、ウソ等の樹林性鳥獣が多く確認された。これら種は、当該地域の亜高山帯～山地帯の樹林環境をねぐら、餌場、繁殖等の生息場として利用しているものとみられる。

また、今回の調査では、重要種に該当する種として、哺乳類 14 種、鳥類 44 種が確認されている。天然記念物のヤマネや特別天然記念物のカモシカの生息が確認されたほか、今回調査で整理した種の多くが埼玉県レッドリストに該当しており、当該地域は埼玉県内における希少な生物の重要な生息環境となっている。

### 5.3.2 当該地域を特別保護地区に指定する意義

特別保護地区は、鳥獣の生息環境を確保し、同時に鳥獣以外の生物を含めた地域の生物多様性の維持回復や向上にも資するため、鳥獣の保護又は鳥獣の生息地の保護を特に必要とする地域について指定するものである。

奥秩父特別保護地区は平成 16 年に指定された。奥秩父特別保護地区が指定されている地域は、多くが亜高山帯の環境を示す地域である。改変されていない原始的な樹林帯が残存する地域であり、本業務の調査により山地～亜高山帯に生息する樹林性の鳥獣が確認されている。このような亜高山帯の環境は埼玉県内において少なく貴重な地域であり、県内の生物多様性を維持する上でも重要な地域といえる。

また、本業務で確認された哺乳類及び鳥類には、天然記念物や埼玉県レッドリストに該当する哺乳類・鳥類が多数確認されており、それらの希少性の高い鳥獣の保護及び生息場となる環境の保全が必要である。

以上のことから、当該地域を特別保護地区として引き続き指定し、生息する鳥獣の保護並びにその生息環境を保全していくことが必要であるものと考えられる。